

2019 年度 アメリカコース報告書

派遣先大学およびスタッフ紹介

・派遣先大学

セントラルミズーリ大学 (University of Central Missouri/UCM)



・期間

令和元年 8 月 22 日 (木) ~ 令和元年 12 月 12 日 (木)

・大学概要

セントラルミズーリ大学は 1871 年に創立され、5 つの学部と 1 つの大学院を擁する州立の総合大学である。学生数は約 13,000 名でミズーリ州以外からも全米 43 州、世界 57 カ国から 2,000 名以上の留学生が在籍する。場所はカンザスシティから東に約 80 キロのウォレンズバーグ市にあり、人口約 2 万人ののどかな地方で治安は非常に安全である。広大なキャンパスにはスポーツジムやコンサートホール、映画館など様々な施設があり、「ムービーナイト」という映画の無料上映、音楽や演劇を学ぶ学生たちが行う公演も観覧することができる。また、近くにアメリカ航空基地があることから、航空学が有名でパイロットを目指す学生も多く集まる。

・スタッフ紹介

本学派遣留学生は、英語を母国語としない留学生向けの IEP (Intensive English Program) と呼ばれるレベル別少人数制の英語のプログラムへ参加した。ここでは、IEP の主導である

English Language Institute の先生方を紹介する。

- ・ Suzanne Beck さん
- ・ Valerie Heming さん
- ・ Jill Thomas さん
- ・ Amber Scroggs さん
- ・ Miryan Andaku さん

以上の先生方に主にお世話になった。

出発から到着までのスケジュール

8月21日（水）

12:00 前後 家までタクシーが迎えに来る

19:00 頃 成田エアポートレストハウス着 前泊

8月22日（木）

8:00 ホテル発、リムジンバスで第2ターミナルへ各自移動。

10:50～8:45 成田→ダラス

12:42～14:46 ダラス→カンザスシティ

その後、UCM の先生に引率され、バスで UCM へ（約1時間半）

派遣先での時間割

レベルによって異なる。下記に記したのはレベル6の時間割。

月曜日と水曜日の Pronunciation と金曜日の授業は合同での授業であった。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 時 間 目	9:00～ 10:50	Reading	Communica tion Skills	Reading	Communicat ion Skills	TOEIC
2 時 間 目	11:00～ 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	American History / US- JP Relation

3 時 間 目	14:00~ 14:50	Pronunciatio n	Communica tion Skills Lab	Pronunciatio n	American Culture	
4 時 間 目	15:00~ 15:50	Reading Lab	American Culture	Writing Lab		

授業内容

・ Reading

学期前半では主に先生が用意した文章を読み、当該する年代に起きた事象や時代背景を理解する。学期後半では本を使い、物語の出来事、登場するキャラクターの性格や行動を、学期前半に学習した出来事や人物と結びつけながらディスカッションし理解する。

・ Writing

英語でのエッセイの書き方を学ぶ。前半は Persuasive エッセイの書き方を学び、後半は Problem/Solution Research エッセイの書き方を学び、実践する。

・ Communication Skills

授業では主に決まったテーマについてディスカッションをしたり、動画や音声で聞き取ったものをノートにとり、まとめる Listening and Notetaking をしたりする。また、個人とグループで2回ずつ、計4回のプレゼンテーションがある

・ Grammar

英語の文法を学び、使い方を覚える。クラスごとに学習する単元は異なる。

・ Pronunciation

少人数のグループに分かれ、インストラクターの先生とともに、さまざまなゲームやシミュレーションで英語の発音の向上を図る授業。

・ American Culture

アメリカの文化について学ぶ授業。自身がアメリカに来てから体験した異文化について書き留めたり、グループ単位でパーティーなどの準備をしたりすることもある。

- ・ TOEIC

TOEIC で点数を取るために模擬問題を使って授業を行う。

- ・ Japan U.S. Relations

日本とアメリカの歴史の中から両国の関係性を学ぶ授業。

- ・ American History

アメリカの歴史を学ぶ。本を読むことや、それぞれ役割を割り振られた当時の人になりきって、立場や社会構図を学ぶこともある。

学生寮

学生寮は、授業を行う施設から約 5 分、遠くても約 10 分の場所に位置している。いくつかある学生寮の中央辺りにダイニングホールがあり、食事ができる。部屋は二人一部屋で、ルームメイトは本学の学生である。トイレとシャワーは隣の部屋の学生と共有する。洗濯は地下のランドリールームで、料理はキッチンですることができる。また、寮によっては卓球やビリヤードの台や道具を使用できる。困ったことは 1 階のロビーにいる寮の管理担当の学生に相談することができる。

平日と休日の 1 日スケジュール

- ・ 平日の一例

7:00 起床

8:30 朝食

9:00～15:50 授業

放課後 クラブ活動、図書館で勉強、Walmart、Rec Center（体育館）で運動 etc.

〈所感〉

放課後の過ごし方は各自さまざまであったが、毎週火曜、木曜、金曜、土曜にある Walmart 行きの無料送迎バスを利用して Walmart へ買い物に出かける生徒が多く見られた。また、クラブ活動に参加する生徒や UCM の生徒に混ざってサッカーをする生徒もいた。学校の図書館は 24:00 まで空いていたので、プレゼンテーション前やテスト前は夜遅くまで勉強することができた。

- ・ 休日の一例

10:00 起床

11:00 ブランチ
13:00 洗濯
15:00 図書館
18:00 ディナー

〈所感〉

休日の過ごし方も各自さまざまであったが、ここではウォレンズバーグ外へ出かけなかった日を一例として挙げた。洗濯の頻度は、1週間分まとめて1度で済ますか週に2度ほど行っていた生徒が多かったように感じる。平日に毎日宿題が出るのはもちろんのこと、毎週末かなりの量が宿題として出されたので日本にいるときよりも勉強に多くの時間を割いた。

留学にかかった経費のすべて

経費 1,110,000 円

〈内訳〉

- ・往復航空運賃 228,770 円
- ・成田前泊日 5,300 円
- ・授業料及び寮費（食費含む）等 867,460 円
（\$ 7.886 × 110 円）
- ・諸雑費 8,470 円

その他の費用として

- ・パスポート取得料（5年間有効） 11,000 円
- ・入国審査（ビザ）申請料 160 ドル
- ・ビザ取得のための新潟－東京間の往復交通費 約 2 万円
- ・SEVIS 管理費 350 ドル
- ・海外旅行傷害保険料 約 3,5000 円
- ・新潟－成田空港間の往復交通費 約 2 万円
- ・その他個人的な支出（小遣い） 個人による

本学留学メンバー

2019 年度の派遣留学アメリカコース参加者は以下の 16 名（男子 8 名、女子 8 名）である。

五十嵐 翠（いからし みどり）
伊藤 健太（いとう けんた）

今川 陽太 (いまがわ ようた)
大野 万咲 (おおの まさき)
櫻井 陽奈 (さくらい はるな)
佐藤 英泰 (さとう ひでやす)
鈴木 陽葵 (すずき はるき)
高野 颯 (たかの はやて)
田中 陽花 (たなか はるか)
富樫 樹 (とがし いつき)
中山 未悠 (なかやま みゆ)
南波 くれあ (なんば くれあ)
長谷川 月 (はせがわ るな)
藤塚 真生人 (ふじつか まいと)
布施 春佳 (ふせ はるか)
水内 能夫 (みずうち よしお)

50 音順

イベント紹介

・ 9月～ アメリカンフットボールの試合

9月ごろよりアメリカンフットボールの試合が始まり、1か月に2回ほど UCM のキャンパス内にあるスタジアムでホームゲームが行われる。生徒は無料で観戦することができる。UCM のチームカラーが赤であるので、試合の日には赤い服を着ている人でいっぱいであった。試合翌日、UCM のチームの得点に応じて UCM ストアが最大 30%の割引となる。



・ 隔週 ELI Activity

English Language Institute が約 2 週間に 1 回企画するアクティビティで主に留学生が参加する。ご飯を食べに行ったりショッピング施設に連れて行ってくれたり、季節のイベントが行われる。普段は車がないために自分たちで行くことができないような場所へ、先生方がバスで連れて行ってくれるので毎回新鮮な体験をすることができた。



・10月12日 Homecoming Parade

ウォレンズバーグの町の中を留学生は自国の旗を持ち、道路の両脇に並んでいる子供たちにお菓子を配りながら歩き回るイベント。浴衣を着て参加した本学派遣留学生や他の日本人留学生もいた。



・11月17日 ISO International Food Show

留学生が自国の料理を自ら作り、来場者に振舞うイベント。日本、韓国、中国、台湾、チュニジア、インドなどの国の料理が用意された。日本人の生徒は、肉じゃが、カレーライス、みそ汁、お好み焼きを作った。当たり前ではあるが、アメリカのキッチンを使うので日本と仕様が違うところもたくさんあったり、多くの人がコンロを使うのでコンロが常に取り合い状態であったり、予想しないハプニングもたくさんあり、柔軟性と適応能力が試される機会であった。しかしその一方で、みんなで協力して作った料理をおいしいと言ってもらえ、とても達成感のあるイベントでもあった。

・11月23日～12月1日 Thanksgiving break

サンクスギビングデーの前後1週間ほどが休みとなり、アカデミックの生徒は自宅へ戻るが留学生は旅行へ出かける。本学派遣留学生の多くはニューヨークへ行った。航空券や宿は先生のを借りながら自分たちで手配した。

・12月11日 卒業セレモニー

学期末のテストの翌日に IEP の生徒向けに行われた卒業式。先生から一人ひとり卒業証書が手渡された。













